

有機農業推進フォーラム（概要）

みどりの食料システム戦略に基づく持続可能な農業生産に向け、有機農業を拡大していくためには、地域ぐるみで生産から加工・流通、消費まで一貫して有機農業に取り組むオーガニックビレッジの創出に加え、各々の市町村の取組の進展を図るとともに、連携を深めていくことが必要です。

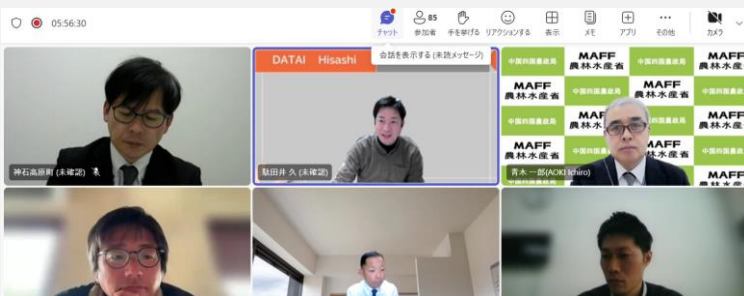
本フォーラムでは、有機農業の活性化に取り組むオーガニックビレッジの取組について基調講演いただき、それぞれの地域の取組のさらなる拡大に向けてパネルディスカッションを行いました。

フォーラム内容

○開催日：令和7年2月18日(火)
13:30~16:05

○方法：オンライン

○参加者：131人



フォーラムの様子



開催チラシ



開会挨拶

基調講演「流域でつながる里山の有機農業の可能性 ～つながりを、つなぐ。ゆうきハートネットの取り組み～」

NPO法人 ゆうきハートネット 事務局長 伊藤 和徳 氏

- ◆ NPO法人ゆうきハートネットは、木曽川流域で、生産者と消費者で有機農業を通じてつながりを持つことを目的に設立され、技術向上、販売促進、体験交流、就農支援の4つの事業に取り組むことで、白川町のまちづくりに貢献している。
- ◆ オーガニックビレッジ宣言をすることで、行政の立場から有機農業の推進をしていくという意思表示をしてもらえて心強いが、生産者と行政で更なる連携が必要だと感じている。

パネルディスカッション「私たちのオーガニックビレッジ ～有機あふれる未来を目指して～」

パネリスト

浜田市農林業支援センター長
神石高原町 産業課 課長補佐
株式会社ビオ・マーケット 取締役事業本部長
NPO法人 ゆうきハートネット 事務局長
中国四国農政局 推進官（みどり戦略担当）

岡田 浄 氏
山村 博樹 氏
安本 優作 氏
伊藤 和徳 氏
青木 一郎

コーディネーター

中国四国地域環境保全型農業・有機農業推進連絡会議 会長 駄田井 久 氏
(岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 准教授)

- ◆ 生産、流通、行政、各々の立場から今後の課題等の意見交換を実施。
- ◆ パネリストから、オーガニックビレッジ宣言を契機として、地域内の有機農業のモデル事例が横展開され、他の地域へ有機農業の取組が広がる一助となっているとの発言があった。
- ◆ 参加者の大学生から「有機農業を拡大するためには、有機農業に取り組む生産者の収入が増えるような施策が必要」等の発言があった。